

写真展

エコール・ポリテクニク、 学生達の日本へのまなざし

日仏イノベーション年 東京特別巡回展

日仏会館ギャラリー
2016年6月23日～6月29日



© Maud LASTIC

日仏会館 東京都渋谷区恵比寿3-9-25 (JR山手線・東京メトロ日比谷線「恵比寿駅」下車)
入場無料 11:00～19:00

主催 日仏経済交流会(パルクラブ)、共催 公益財団法人日仏会館、TMF日仏メディア交流協会
協力 横須賀市、X-Japonグループ、エコール・ポリテクニク日本文化普及実行委員会
後援 在日フランス大使館、エコール・ポリテクニク(École polytechnique) www.polytechnique.edu/en
お問い合わせ: photosdujapon@polytechnique.fr



優秀な人材を輩出するフランス最高峰のグランゼコール(Grandes écoles)のひとつであるエコール・ポリテクニク(École polytechnique)と、日本の産業界・学術界の間の橋渡しをしたい。その橋を渡って、日仏の若き人材の新たな行き来と出会いが生まれて欲しい。エコール・ポリテクニクにおける日本の写真展*1 は、こうした思いから2013年に始まりました。

エコール・ポリテクニク

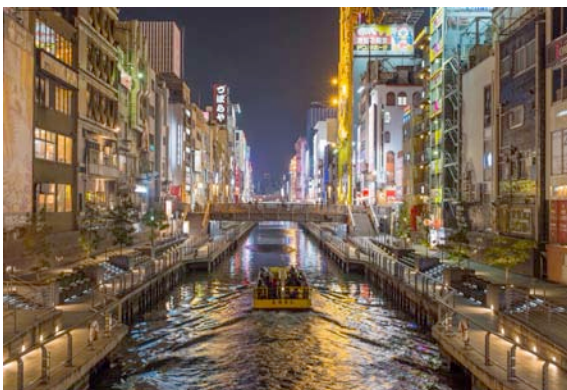
フランスの高等教育制度には、大学(universités)とは一線を画すグランゼコールがあります。大学へはバカロレア(高等学校卒業資格)を取れば入れますが、グランゼコール入学には厳しい選抜試験があります。エコール・ポリテクニクはその中でも最高のランクに位置する理工系の超難関校で、毎年、フランス国内から最も優秀な若者たちが入学します。

同校は、フランス革命でその機能が大きく混乱した国の行く末を案じたラグランジュ、モンジュ、ベルトレなどの科学者たちによって1794年に創設されました。幾多の戦乱とかつての指導者達の国外流出に見舞われたフランスのために幹部を養成すること、そしてまた啓蒙主義の理念のとり科学教育をひろめることがその目的でした。フランス革命前にはアンシャンレジーム(旧体制)のもとに定められた高貴な身分の者にしか与えられていなかった勉学の機会(王立土木学校、王立工兵学校など)を、身分を問う事なく才能ある若者たちに与えようと、エコール・ポリテクニクはその門戸を開いたのです。広く各界をリードする人材を養成する最高学府としての営みは、連綿と続いて今日に至っています。1972年には女子にも門戸が開かれました。

卒業生には、ポアンカレ、ベクレル、マンデルブロなど科学史に名を残す人物が数多くいるほか、フランス共和国大統領を務めたジスカール・デスタン氏、碩学ジャック・アタリ氏、ノーベル経済学賞の受賞者ジャン・ティロール教授も同校の卒業生です。最近では実業界で活躍する人物も多く、カルロス・ゴーン氏(ルノー・日産)、バルナール・アルノー氏(LVMH)のお二方も日本ではよく知られています。このように、同校は将来のフランスの中核を担う若者達が学んでいる高等教育機関であるといってお間違いありません。

日本をテーマにした写真コンクール

そのエコール・ポリテクニクの学生や職員たちの日本への関心をより高めることを目的に、同校内にて日本をテーマにした写真展を初めて開催したのが2013年でした。親日家はもちろんのこと、普段日本への関心がそれほど高くはない人たちの心も惹きつけるために、コンクールの形をとり、少しでも多くの参加者を募る工夫を施しました。様々な日本企業へ協力を仰ぎ、MADE IN JAPANの優れた賞品*2を揃えたのは、同時にこれらの日本企業の方々にエコール・ポリテクニクの存在を知ってもらうためでもあります。写真コンクールは好評を博して3年続き、第四回展は2017年初めに予定されています。



© Frédéric WILHELM

日本巡回展

幕末・明治維新の頃に日本政府の求めに応じて来日し、日本の近代化に力を尽くしたフランス人の中にはエコール・ポリテクニクの卒業生も多く、横須賀製鉄所建設の指揮をとったレオン・ヴェルニー(1837-1908)もその一人でした。同製鉄所建設は、日本とフランスの共同事業の幕開けとなる重要な事業でした。



© Virginia CRUZ

このことが縁となり、横須賀製鉄所創設150周年を記念して2015年秋、横須賀市内にて、エコール・ポリテクニクにおける日本の写真展初回から第三回展までに出品された全ての写真作品150点が展示されました。そしてこの度、それが日仏イノベーションに際して東京へ巡回する運びとなりました。同写真展が日本のみならずエコール・ポリテクニクのことを改めて知って頂く機会となりそこから新たな人と人のつながりが生まれることを願っています。



© Victor PROST

写真展巡回のためにご尽力下さった日仏経済交流会、公益財団法人日仏会館、日仏メディア交流協会、横須賀市、そしてフランスでの初回写真展から本日に至るまで各展覧会の運営を支えて下さった全ての方々に、この場を借りて心よりお礼を申し上げます。

展覧会原案企画者

*1. エコール・ポリテクニク校内で開催時の写真展のタイトルは、「Le Japon tel que vous l'avez vu ou tel que vous l'imaginez」(あなたが見た日本、あなたが想像する日本)。撮影場所が日本だけでなく日本をテーマにした作品ならコンクールに応募できるようにしました。

*2. MADE IN JAPAN として既に世界的に有名な製品はもちろんのこと、日本の日常生活で当たり前のように使われているものの、その製造にあたって高度な科学技術が活かされている製品が賞品となるよう考慮しています。